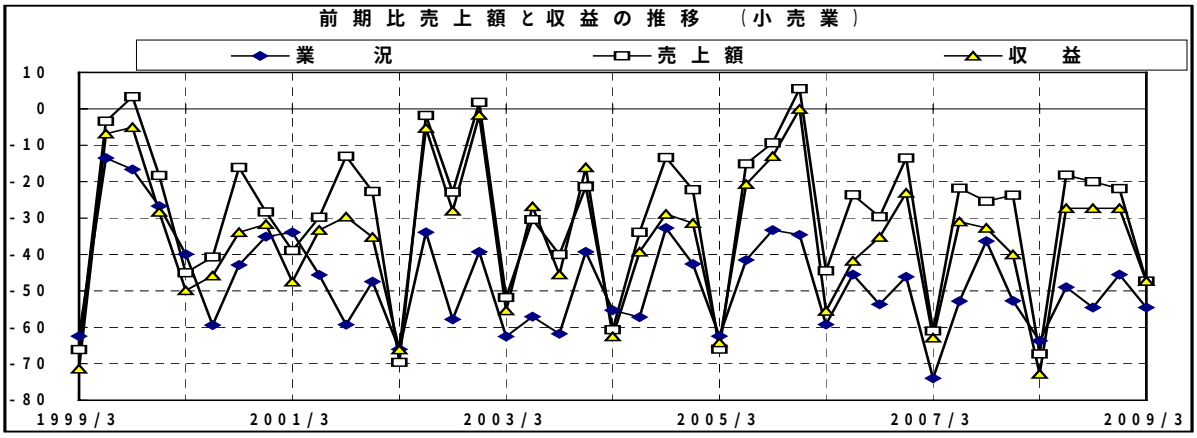
小　売　業　55 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□　景　　況

DI 値の推移	7～9 月期実績	10~12 月期実績	1～3 月期実績	4～6 月期見通し
業　況	-54.6	-45.5	-54.6	-43.6
売上額	-20.0	-21.9	-47.3	-41.9
収益	-27.3	-27.3	-47.3	-43.6

今期の業況判断ＤＩ値は△54.6 と、前期比悪化しマイナス値が 9.1 ポイント拡大した一方、前年同期(△63.7)との比較で改善がみられる。地区別にみると、浦河、えりも地区が改善し、静内、三石地区が横ばい、様似、広尾地区で悪化している。

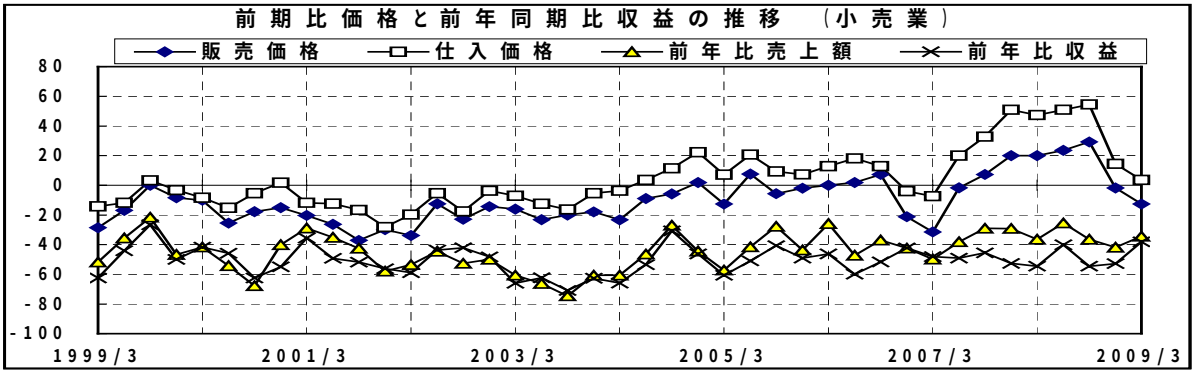
売上額、収益判断ＤＩ値は、売上額が△47.3、収益が△47.3 と、前期比マイナス値が拡大し悪化、それぞれ 25.4、20.0 ポイント低下した。



□　価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値の推移	7～9 月期実績	10~12 月期実績	1～3 月期実績	4～6 月期見通し
販売価格	29.2	-1.8	-12.7	-10.9
仕入価格	54.5	14.5	3.6	1.8

販売価格判断ＤＩ値(△12.7)は、前期比マイナス値が拡大し 10.9 ポイント低下、価格低下基調を強めている。一方、仕入価格判断ＤＩ値(3.6)は、前期比プラス値が縮小し 10.9 ポイント低下、価格上昇基調を弱めている。業種別にみると、食料品、家電品が販売、仕入価格判断ＤＩ値ともに低下し、衣料品は販売価格判断ＤＩ値が低下し、仕入価格判断ＤＩ値で上昇している。



□　雇用面の動き

DI 値の推移	7～9 月期実績	10~12 月期実績	1～3 月期実績	4～6 月期見通し
残業時間	0.1	-10.9	-16.4	-10.9
人手状況	-9.0	3.6	3.6	-3.6

残業時間判断ＤＩ値は△16.4 と、残業時間が減少したとする企業割合が増加し、前期比 5.5 ポイント低下した。

人手過不足判断ＤＩ値は 3.6 と、前期比人手過剰感が横ばいとなっている。

□　設備投資の動き

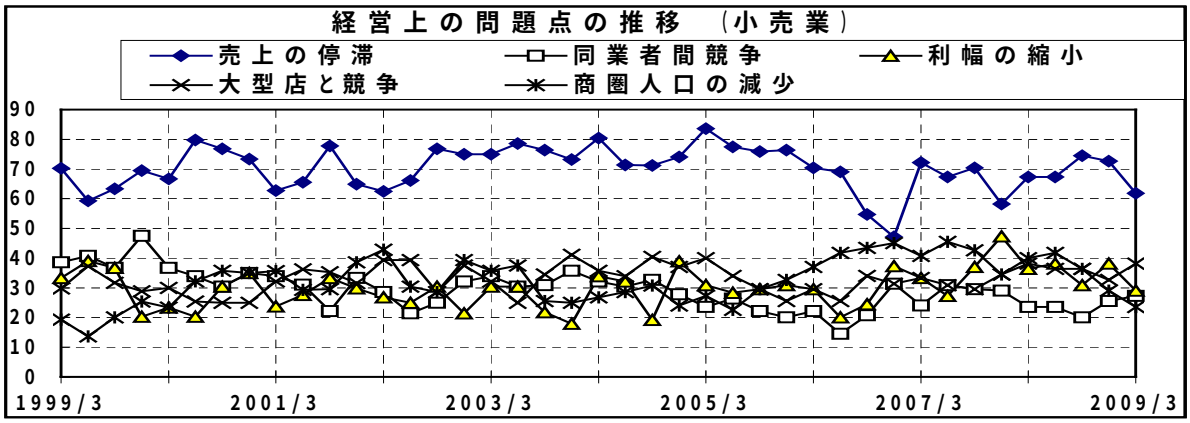
設備投資の充足感を示すＤＩ値は△9.0と、前期（△10.9）からマイナス値が1.9ポイント縮小し不足感がやや弱まる一方、適正と回答した企業は80.0%と、前期(85.5%)から5.5ポイント低下した。

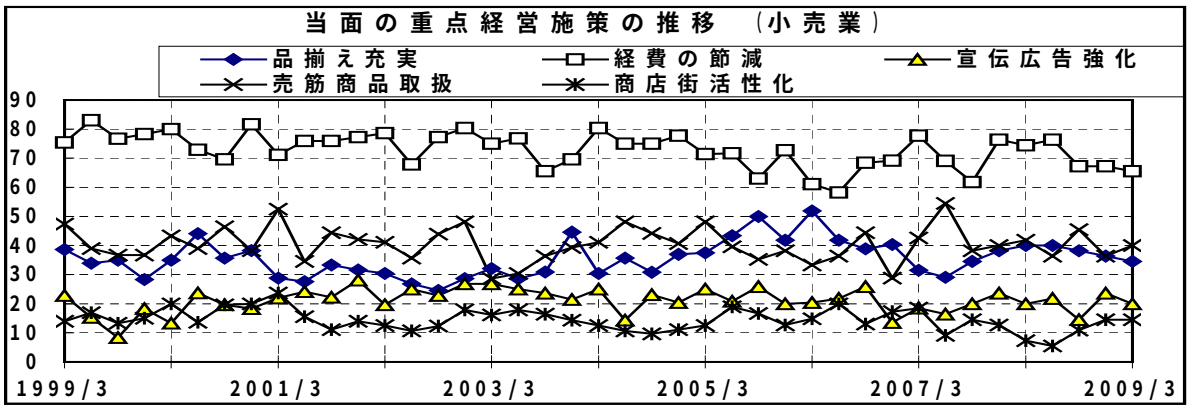
設備投資実施企業割合は12.7%と、前期（7.3%）比5.4ポイント上昇し、件数で前期の4社に対し7社の実施となった。また、来期予定では当期比2社減の5社となっている。

□　経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞」をトップに挙げ61.8%、次いで「大型店との競合」38.2%、「利幅の縮小」29.1%、「同業者間との競合」27.3%の順に続き、前期との比較では「大型店との競合」、「同業者間との競合」と回答する企業が多くなっている。業種別にみると、衣料品が「売上の停滞」、「商圏人口の減少」、食料品が「売上の停滞」、家電品が「大型店との競合」、「利幅の縮小」をトップに挙げている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ65.5%、次いで「売れ筋商品取扱」40.0%、「品揃えの充実」34.5%、「宣伝広告の強化」20.0%の順となっている。業種別にみると、衣料品が「経費の節減」、「売れ筋商品取扱」、「品揃えの充実」、食料品、家電品が「経費の節減」をトップに挙げている。





□　来期の見通し

来期（21年4～6月期）の予想業況判断ＤＩ値は△43.6と、今期（△54.6）実績比11.0ポイントの改善見通しとなっている。

予想売上額、予想収益判断ＤＩ値は、売上額が△41.9（今期△47.3）、収益が△43.6（今期△47.3）と、それぞれマイナス値が縮小し、今期実績比5.4、3.7ポイントの上昇見通しとなっている。

予想販売、予想仕入価格判断ＤＩ値は、販売価格が△10.9（今期△12.7）と、今期実績比マイナス値が縮小し1.8ポイント上昇、価格低下基調が弱まる一方、仕入価格は1.8（今期3.6）と、今期実績比プラス値が縮小し1.8ポイント低下、価格上昇基調が弱まる見通しとなっている。

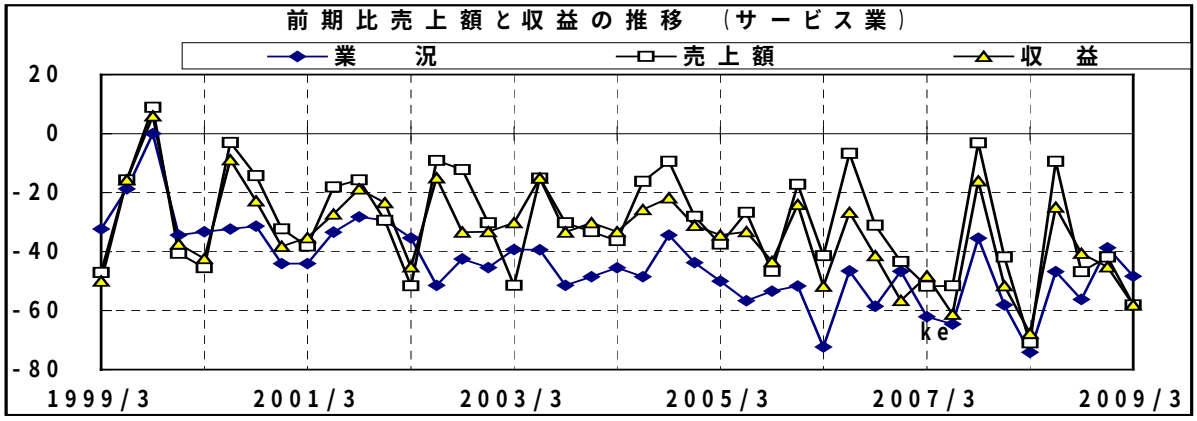
サービス業　31企業（回答率100.0%）の調査結果です

□　概　　況

DI値の推移	7～9月期実績	10~12月期実績	1～3月期実績	4～6月期見通し
業　況	-56.2	-38.7	-48.4	-48.5
売上額	-46.9	-41.9	-58.1	-38.7
収　益	-40.6	-45.2	-58.1	-45.1

今期の業況判断ＤＩ値は△48.4 と、前期比悪化しマイナス値が 9.7 ポイント拡大した一方、前年同期(△74.2)との比較で改善がみられる。地区別にみると、広尾地区が改善し、浦河、えりも地区が横ばい、静内、三石、様似地区で悪化している。

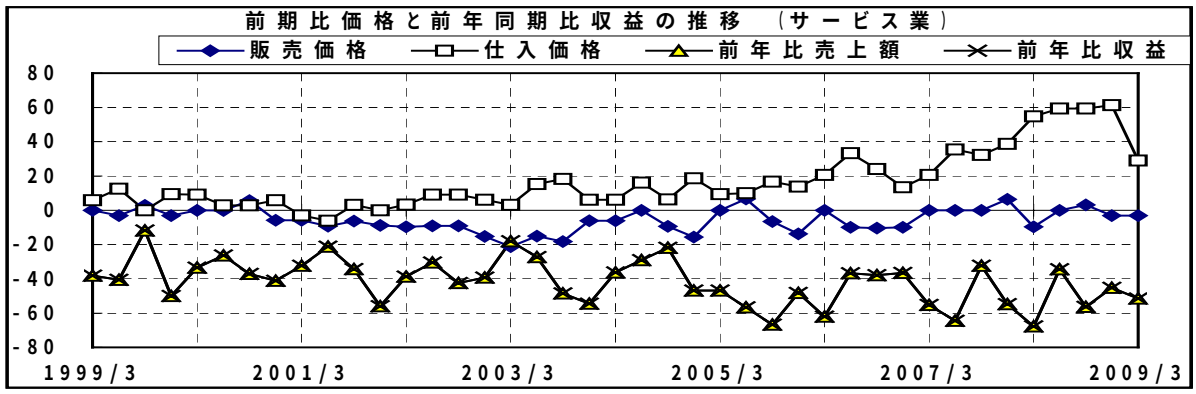
売上額、収益判断ＤＩ値は、売上額が△58.1、収益が△58.1 と、前期比マイナス値が拡大し悪化、それぞれ 16.2、12.9 ポイント低下した。



□　価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI値の推移	7～9月期実績	10~12月期実績	1～3月期実績	4～6月期見通し
料金価格	3.1	-3.2	-3.2	-12.9
材料価格	59.3	61.3	29.0	9.6

料金価格判断ＤＩ値(△3.2)は、前期比価格低下基調が横ばいとなっている。一方、材料価格判断ＤＩ値(29.0)は、前期比プラス値が縮小し32.3 ポイント低下、価格上昇基調を弱めている。業種別にみると、旅館、洗濯･理美容は料金価格判断ＤＩ値が横ばい、材料価格判断ＤＩ値で低下、自動車整備は料金価格判断ＤＩ値が上昇し、材料価格判断ＤＩ値で低下している。



□　雇用面の動き

DI値の推移	7～9月期実績	10~12月期実績	1～3月期実績	4～6月期見通し
残業時間	-12.6	-6.5	-19.4	-19.4
人手状況	-3.2	-6.5	9.6	-3.2

残業時間判断ＤＩ値は△19.4 と、残業時間が減少したとする企業割合が増加し、前期比12.9 ポイント低下した。

人手過不足判断ＤＩ値は 9.6 と、前期比マイナス値からプラス値に転じ 16.1 ポイント上昇、人手過剰感を強めている。

□　設備投資の動き

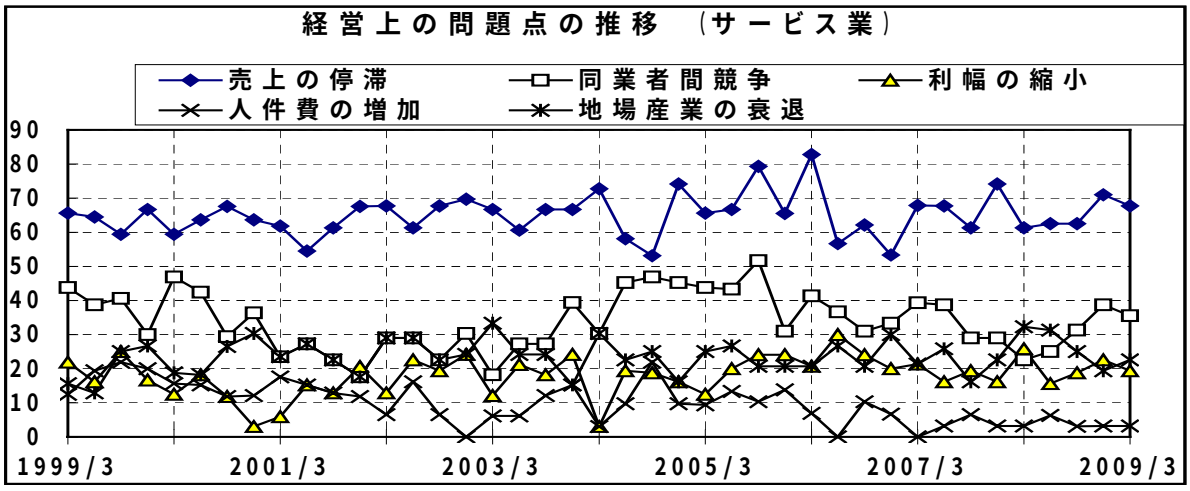
設備投資の充足感を示すＤＩ値は△22.6 と、前期（△22.6）の不足感が横ばいとなったほか、適正と回答した企業も 71.0%と、前期（71.0%）と同様の割合となった。

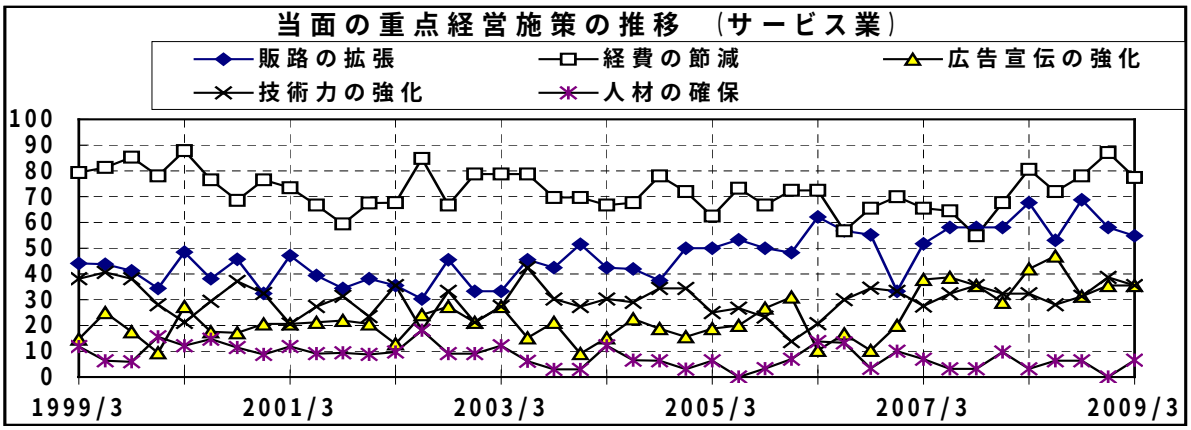
設備投資実施企業割合は 9.7%と、前期（6.5%）比 3.2 ポイント上昇し、件数で前期の 2 社に対し 3 社の実施となった。また、来期予定では当期比 1 社増の 4 社となっている。

□　経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞」をトップに挙げ 67.7%、次いで「商圏人口の減少」48.4%、「同業者間との競合」35.5%、「地場産業の衰退」22.6%の順に続き、前期との比較では「商圏人口の減少」、「地場産業の衰退」と回答する企業が多くなっている。業種別にみると、旅館が「商圏人口の減少」、「同業者間との競合」、洗濯･理美容、自動車整備が「売上の停滞」をトップに挙げている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ 77.4%、次いで「販路を広げる」54.8%、「技術力を強化する」、「宣伝広告の強化」35.5%の順となっている。業種別にみると、旅館が「販路を広げる」、洗濯･理美容、自動車整備が「経費の節減」をトップに挙げている。





□　来期の見通し

来期（21 年 4～6 月期）の予想業況判断ＤＩ値は△48.5 と、今期（△48.4）実績比 0.1 ポイント低下のほぼ横ばい見通しとなっている。

予想売上額、予想収益判断ＤＩ値は、売上額が△38.7(今期△58.1)、収益が△45.1(今期△58.1)と、それぞれマイナス値が縮小し、今期実績比 19.4、13.0 ポイントの上昇見通しとなっている。

予想料金、予想材料価格判断ＤＩ値は、料金価格が△12.9(今期△3.2)と、今期実績比マイナス値が拡大し 9.7 ポイント低下、価格低下基調が強まる一方、材料価格は 9.6(今期 29.0)と、今期実績比プラス値が縮小し 19.4 ポイント低下、価格上昇基調が弱まる見通しとなっている。